血350 エプキンリ単剤療法【10コース目以降用】　05-02-3380

レジメン期間：28日

Rp	薬品／コメント	投与量	用法／手技・ルート	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4
001 注射	生理食塩液（１００ｍｌ） ルートキープ用	1 瓶	化学療法点滴 メイン2	●			
002 注射	プレドニン［水溶性］（２０ｍｇ） 生理食塩液（１００ｍｌ） ３０分かけて	5 Ａ 1 瓶	化学療法点滴 メイン2	●	●	●	●
003 注射	生理食塩液（１００ｍｌ） ３０分かけて	1 瓶	化学療法点滴 メイン2	●			
004 注射	エプキンリ皮下注(ｴﾌﾟｺﾘﾀﾏﾌﾞ) 腹部又は左右の大腿部に皮下注射 ※前回の投与後にG2以上のサイトカイン放出症候群が出現した場合、 エプキンリ投与開始30～120分前に、ステロイドを投与すること －薬剤部調製－	48 mg/body	皮下注射 －	●			

【レジメンコメント】
※前回の投与後にG2以上のサイトカイン放出症候群が出現した場合、エプキンリ投与開始30～120分前に、
ステロイドを投与すること。(必要に応じて、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤の投与も検討してください。)
G3以下のサイトカイン放出症候群が出現した場合、回復するまで休薬
G4のサイトカイン放出症候群が出現した場合、投与中止
※以下の投与遅延があった場合、サイトカイン放出症候群を軽減するために、1コース目の投与方法に戻して再び投与を開始すること。
48mgの投与間隔が6週間を超えた場合
その後は、予定されていた次の投与コース(投与を延期したコースの次の投与コース)の1日目から投与を再開すること。
＊10ｺｰｽ目以降に使用するレジメンです。